

日時・場所	平成28年7月25日（月）	8時45分～ 庁議室
出席者	山仲市長、川端教育長、立入議会事務局長、寺田政策調整部長、大藤政策調整部政策監、遠藤総務部長、上田市民部長、瀬川健康福祉部長、辻村健康福祉部政策監、小山都市建設部長、白井環境経済部長、藤池教育部長、野玉会計管理者、服部広報秘書課長、事務局（企画調整課）	

## 1. 市長指示事項

- ・ 先日開催されたやすっこフェスタ&野洲市花火大会では大きな事故やトラブルも無く、多数の方々に参加していただき、無事に終わることができた。準備は実行委員会を中心に、様々な団体や市職員の協力のもと、うまく進めることができたとのことである。これは素晴らしいことであり、毎年同じ場所で花火大会を開催するだけでも大変なことだが、新しい場所で一から準備し無事終えられたのは、市民力、団体力の賜物である。現場は大変だったと思うが、新規事業を展開して成果が上がった好例として、評価すべきことである。最終的に事業はこのような形で成り立ち市民に還元できるという好例として共有化すること。
- ・ 国道8号バイパスの整備について、一部工事が始まっており、市内の用地はほぼ確保でき、オリベスト(株)の移転に伴う市街化区域編入手続きまで進んできている。用地買収は地道で大変な業務であり、地権者には事業の必要性を説明し理解していただいたうえで、貴重な財産を提供していただかなければならず、信頼感、誠実さ、熱意等がないとできない業務である。ノウハウが少ない中で、担当職員の頑張りとおこれまでの様々な実績の積上げにより成果が上がっていることは評価に値することであり、共有すべき財産・資源として認識をしておくこと。
- ・ フォーラム野洲2016を来月から年末にかけて開催するが、単にイベントを開催するというのではなく、市民と様々な専門家や活動団体とが接点を持つことによって、新たなまちづくりのプロセスを構築し、より良いまちづくりを実現することが目的である。つまり、単に専門家から話を聞いたり、意見交換をしたりする機会を設けるということではなく、様々な問題点や最先端の情報を取り交わして、新たなまちづくりの原動力にしていくということである。もちろん多くの方々に参加していただきたいが、それ以上に、充実した内容にするという意識で取り組むこと。

## 2. 報告事項

### ① 第1回野洲市上水道運営委員会の結果について

【所管： 環境経済部】

水道事業会計の現状および将来を見据えた適正な料金改定について、市長の諮問に応じ審議を行うため、平成28年7月6日に第1回の運営委員会を公開により開催し、水道事業会計の現状と今後の見通し及び野洲市水道事業アセットマネジメント計画について協議した。次回は8月9日（火）の開催を予定している。

### ② （仮称）野洲市民病院整備基本設計業務委託の公募型プロポーザル審査結果について

【所管： 政策調整部】

（仮称）野洲市民病院整備基本設計業務委託の受託業者を適正に選定するため実施した公募型プロポーザル審査では、4者の参加表明があり、一次審査（6月10日）及び二次審査（7月11日）の手続きにより、最優秀者を(株)佐藤総合計画、優秀者を(株)石本建築事務所大阪支所に決定した。これに係る公募型プロポーザル審査委員会の審査結果報告書及び最優秀者提案の設計に移行するに際しての要請事項が提出された。以上の結果に基づき、公募型プロポーザル審査委員会の審査により特定された最優秀者との契約手続きを行う。また、「（仮称）野洲市民病院整備事業」が多様な入札契約制度モデル事業として選定されたので、併せて報告する。

### ③ インキュベーションセンターの現状について

【所管： 環境経済部】

野洲市商工会が、「女性のビジネスセミナー『高い塾』」を契機に、地域経済活性化の一環として、旧ふれあいセンターを「起業家支援施設」として活用するもの（市が商工会に無償貸付）。現在の出展者は、物販（小物・洋服・雑貨）で1店舗、学習（教室・整体）で1店舗の合計2店舗である。来客数は、約380人（男性80人、女性300人：7月20日現在）。なお、現時点での追加出展予定者は、5店舗である。

→プレオープン準備中の6月21日までは18店舗の出展予定であったが、翌日に16店舗がとりやめた経緯を整理しておくこと。

### 3. 協議事項 なし

### 4. その他伝達事項

- 平成29年度から平成31年度の間での総合計画ロードマップにおいて、新たに追加を見込む事業並びに『行財政改革推進計画』（平成26年8月策定）に位置づけられた課題項目について、ヒアリングを実施する。実施するにあたって所定ファイルに入力願いたい。入力期限はいずれも8月16日までで、ヒアリングの実施期間は8月17日から9月1日まで。総合計画ロードマップについては、10月4日及び10月5日に市長ヒアリングを予定している。
- 野洲駅南口整備構想を具現化するにあたり、コミセンやすの立地等、そのあり方について早急に議論しなければならない。コミセンやすは野洲学区内の適正な場所に立地すべきであると考えており、議論の前提として、各コミセンの立地や規模等はどのようなプロセスで決定したのかを整理しておくこと。そのうえで、コミセンやすのあり方等についての課題を設定し、各コミセンの立地や規模等の決定プロセスを踏まえ、立地等について学区住民に提案をするなど、公開の場で市からアクションを起こす必要がある。速やかに進めること。
- 総合調整会議における野洲市ガス事業協同組合からの要望に対する回答についての議論の中で、緊急時の対応を要することを仕様書に謳うべきであるとの指摘があるが、それはおかしい。仕様書の内容は価格に反映することになるが、緊急時の見積りなどできない。別途協定を締結することで対応すればよいだけである。再度議論すること。
- 守山野洲行政事務組合における契約事務の不正事案について、不正を行った職員に対し停職6ヶ月の処分を行い、当職員は同日付けで依願退職をした。なお、翌日、守山野洲行政事務組合管理者から守山警察署長に対し、本件について刑事告発を行った。

### 5. 次回部長会議

8月1日（月）8時45分～ 庁議室